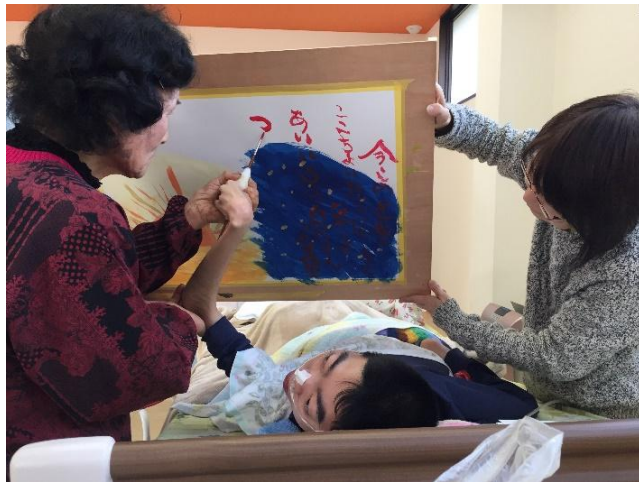


浩太郎ハッピープロジェクト

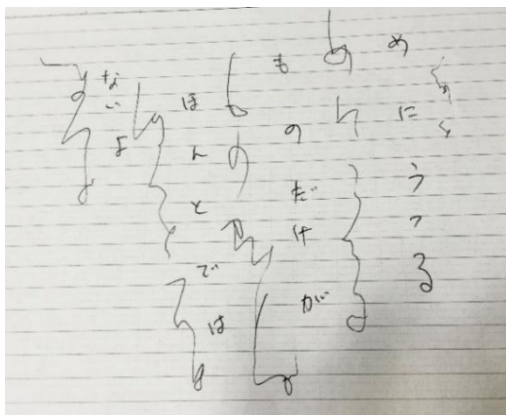


『浩太郎ハッピープロジェクト』とは

○脳性まひで、何も出来ないと思われた長男浩太郎でした。しかし15年後、見る人に勇気を与える絵を描き始めます。介助をしていただくことで、話せなくても動けなくても心の中にある見えない想いを伝えることができました。精一杯絵を描き言葉を綴った小林浩太郎のことや彼の生命力溢れる作品を紹介しながら、人間のまだ見えていない可能性について伝えていきたいと思い活動しています。

○具体的には、作品展や講演会・お話し会、カレンダーやポストカードなどのグッズ製作・販売、また都留市内のパラアートをつなげる活動を行っています。

○重度障害者の表現についての啓蒙活動も行っており、介助付きコミュニケーション（指筆談）に興味がある方に詳細をお伝えしています。



一緒に活動しませんか？ まだ見えていない可能性に出会うために。

伝えられない、は本当でしょうか？
浩太郎ハッピープロジェクトは、話すことが難しい人の「コトバ」を、
伝え、受け取りあう社会を目指すプロジェクトです

具体的には、

- ・重度の障害を持つ方の理解や表現に関する勉強会に参加する
（彼らの表現に触れたり、表現方法について学ぶ。詳しくはお問い合わせください。）
- ・マルシェなどの出店の時、一緒にお店に立っていただく
- ・作品展やお話会でのお手伝い
- ・動画編集の作業サポート

*関わり方は様々です。あなたの形でご参加いただけたら嬉しいです。

「浩太郎ハッピープロジェクト」 ☎：090-8700- 2935 担当：小林圭子

✉：kotarohappypro@gmail.com

ご連絡ください！

小林浩太郎はどんな人？

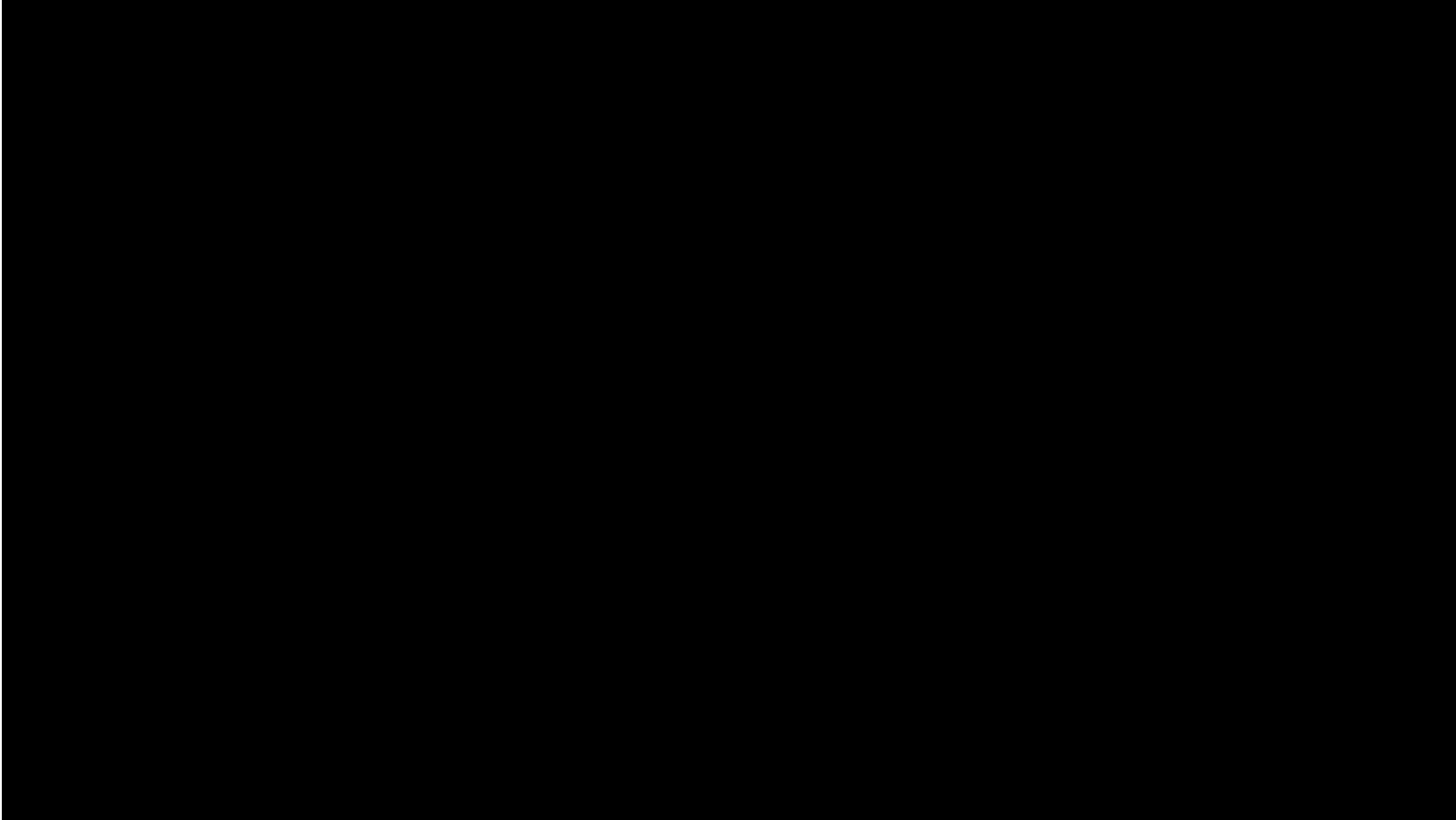
- ・ 山梨県都留市生まれ （ 1996年12月－2020年8月 ） ・ 23歳で他界
- ・ 難治性てんかんから脳性まひに
- ・ 一生涯話せず動けなかったが、手を添えてもらうことで15歳の頃から自分の気持ちを絵で表現できるようになりました。
- ・ 19歳の時に「介助付きコミュニケーション（指筆談）」に出会い、言葉でも表現できるようになる。「めにうつるものだけがほんとではないよ」は初めて書いた言葉です。
- ・ それからは、自分たち障がい者の本当の姿を理解してもらおうと絵や文章で精一杯彼の心を表現。
- ・ 23歳で他界するまで、彼独自の感性で約200点の水彩画や詩画、書を残しました。



小林浩太郎
Webリンク集



小林浩太郎 ミニ紹介動画



・ 黒い画面にカーソルを動かすと、
方に再生用の表示が現れます。下の